

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀市立諏訪小学校	階数	地上4F
建設地	神奈川県横須賀市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	589人
気候区分		年間使用時間	4,640時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2010年8月6日
敷地面積	9,753㎡	作成者	大宇根建築設計事務所
建築面積	3,088㎡	確認日	
延床面積	8,340㎡	確認者	大宇根建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 児童の個性や創造性を育み、生き生きと学べる学校、地域に開かれた学校とする。幼小中連携教育の推進等の方針に基づき、校舎を隣接する中学校寄りに配置すると共に、出来る限り広くまとまったグラウンドを確保する。各部門を明快にゾーニングし、生徒に分かりやすくかつ学校運営が容易で、幼稚園、中学校との相互利用、地域利用にも対応しやすい構成とする。	その他	
Q1 室内環境 外壁、屋上を外断熱し、快適な室内温度環境とする。普通教室の南側には庇付きの大きな窓を設け、直射日光を遮りつつ明るい光環境とする。照明は教室毎に系統分けし、必要に応じた使い分けが出来る計画とする。	Q2 サービス性能 小学校として親しみのある雰囲気とするため、内装に自然の木質系材料を多用する。長寿命な学校とするため、丈夫な材料を選択し、傷みにくい納まりすると共に、設備も含めて維持管理しやすい建築とする。	
LR1 エネルギー 外壁、屋上を外断熱し、空調負荷を低減する。冷暖房設備にはガスヒートポンプを採用する。機械・電気設備共に適切に系統分けを行う。照明は省エネ型の蛍光灯を主体とする。また、太陽光発電を導入する。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、便器を主体とし、一部のトイレ洗浄水には雨水利用を行う。また、オゾン層破壊係数0の発泡断熱材、冷媒を採用する。高炉コンクリート、再生砕石材等のリサイクル材を用いる。内装の一部には、国産のヒノキ材を用いる。	
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出量は、参照値に対して63%程度とする。市の基準に基づき、敷地内の雨水流出を抑制する。敷地内に送迎車スペースを設け、周辺道路の渋滞緩和に配慮する。	
	Q3 室外環境(敷地内) 周辺に圧迫感を与えないよう校舎をコンパクトにまとめ、敷地周囲の既存樹木は出来るだけ残す。視線を遮らない樹木の配置、防犯カメラの設置、グラウンドを見通しやすい職員室の配置とし、防犯性に配慮する。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたし